

第7回 支部総会

教育活動を推進  
資格取得研修を拡充

当支部は6月3日(月)、東京・千代田区のホテルグランドパレスで第7回通常総会を開催しました。



渡辺清彦副支部長が開会を宣言した後、内田浩文支部長(写真)が登壇し、「昨年度に引き続き、教育活動を力強く予定だ。人手不足が懸念されている防水業界で若い世代に活躍してもらうためには、人材育成に注力し、良質な技能者を育てたい。また、建築施工管理技士をはじめ、建設業経理士の資格取得を目指した研修も行う。皆様のご協力を願う」と挨拶を述べました。

続いて、中村陽祐副支部長を議長に選出後、議案審議に入りました。第1号議案▽平成30年度事業および決算承認の件(監査報告)

本部も通常総会を開催

2019年度事業計画および収支予算が報告されました。2019年度事業計画における主要事業については次の通り。  
①研修会等として、2級建築施工管理技士受験対策と建設業経理士2級資格取得の研修の新規実施と、従来からの建設CAD研修の継続実施②「防水施工管理技術者認定試験」の実施協力③「ものづくり大学」における防水施工の講義・実習の非常勤講師を派遣など。その後、議長の中村副支部長が降壇し、最後に渡辺副支部長が閉会の辞を述べ、総会は終了しました。

引き続きの本部総会は、井上良夫常任理事の閉会の辞で幕を開けました。挨拶に立った高山宏会長は「当協会は、本年4月から本格稼働した建設キャリアアップシステムを支援していく。システムの本格稼働に合わせて技能者の能力評価の仕組みを策定し、この基準に基づき、技能者を適正評価することで技能や経験に応じた処遇を実現する環境を整備する。当協会

坂田守夫氏が黄綬褒章

春の褒章において、当支部関係者では前支部長で本部監事の坂田守夫氏(坂田工業・長野県)が、業務精励により黄綬褒章の榮譽を受けました。

◆坂田 守夫氏 談

「令和という新しい時代になって最初の褒章を受章したことを、とても嬉しく感じています。防水一筋に生きてきたことが報われた気持ちですが、自分一人だったらここまで頑張れなかったと思います。支えてきてくれた家族、協力してくれた関係各位に、心から感謝致します。新しい時代を生きる後進のためにも、まだまだやれることはあるはず。防水業界発展のため、微力ですが力尽きるまで突き進む覚悟なので、これからもご支援いただければ幸いです」



有山幸治郎氏は国土交通大臣表彰

令和元年度の建設事業関係功労国土交通大臣表彰の受彰において、当協会副会長の有山幸治郎氏(日本産業・東京都)が表彰を受けました。

◆有山 幸治郎氏 談

「大変光栄です。気候変動で集中豪雨や大型台風が頻発し、建築防水の重要度が増えています。これからも関係者と技術研鑽しながら、力を合わせて高品質の防水を提供できるように、より一層尽力致します」



関東地方整備局幹部との意見交換会

建専連・関東建専連

はこれまで人材育成の事業として、1542人の登録防水基幹技能者、914人の防水施工管理技術者を輩出している。これら優秀な技術者・技能者が施工に関わることを通じて、防水工事業界に求められる安全・安心な住環境の整備に的確に貢献したい」と述べました。続いて刈谷純副会長が議長に選出され、議案審議に入りました。

平成30年度事業報告および決算承認の件(監査報告)は異議なく可決承認され、2019年度事業計画および収支予算と平成30年度



公益目的支出計画の実施について報告が行われ、2019年度事業計画における主な事業は次の通り。①防水工事業の社会的・経済的地位の向上を目的に、国に対する要望などを行い、防水工事業界の経営基盤を確立②建設産業専門団体連合会等関係団体と協力して行政側との意思疎通、業界の地位向上③登録防水基幹技能者講習実

原局長は、「先週、関東インフラサポートプランVer.3を発表したところ、新・担い手3法を踏まえて取組み、技能向上、処遇改善につなげていく」と述べました。意見交換は、①技能労働者の処遇、専門工事業の受注機会確保②CCUSの活用③公共工事設計労務単価を現場で働く技能者の賃金を反映させるための方策④働き方改革における週休二日制のとりくみ⑤登録基幹技能者の評価活用⑥の4つをテーマに行われました。

さる6月25日(火)、さいたま新都心のラフレさいたまにて、建設産業専門団体連合会(建専連)、建設産業専門団体関東地区連合会(関東建専連)と関東地方整備局幹部との意見交換会が行われました。関東地方整備局側は石原局長(写真)はじめとする幹部が、建専連並びに関東建専連側は才賀建専連会長、

向井関東建専連会長など各団体代表が参加し、当支部からは内田支部長が出席しました。建専連・才賀会長は「技能労働者の給与引上げなどの対策を進めてはいる。担い手となる若い人が安心して建設現場に入ってくる産業として」と、関東建専連・向井会長は「働き方改革

や生産性の向上に関し、専門工事業はどちらかといえば受け身だが、主体性を持って取り組んでいく。建設キャリアアップシステム(CCUS)は処遇改善に重要な役割を果たす。2次、3次下請の加入を高めていくことが課題だ」と挨拶し、これを受けて整備局・石

運用が開始されたが、ゼネコンに対して全ての現場でICカードが利用できるカードリーダー設置を指導して欲しい」と要望したのに対し、整備局は「週休二日工事を拡大させる」とともに、短工期工事の禁止などの対策を行っている」④では、局発注工事における登録基幹技能者のさらなる評価・活用と、局管内地方公共団体、民間発注者に対しての評価・活用の要請」に対して整備局は「平成29年度以降継続して評価・活用を進めており、関東プロック発注者協議会の場でも周知に努めてきている」と回答がありました。

フルハーネス型墜落制止器具 買換えに補助金

今年2月から「安全帯」の名称が「墜落制止用器具」に変わるとともに、一部を除いた従来型製品は22年1月1日まで使用が認められるものの、新規製品に買い換える必要が有ります。その購入費用の間接補助金の申請受付が開始されました。

新(改修、買換え等)とフルハーネス型墜落制止用器具の買換え等が対象で、予算は併せて4億1000万円。申請対象者は中小企業に該当する法人、労災保険に特別加入している個人事業者等に限り、②は、買い換え対象の新規格製品1本あたりの補助金上限が1万2500万円(補助対象経費上限2万5000万円の1/2)、同一申

請者あたり合計額で50万円が支給上限となっています。この間接補助金は、事業場の規模、従事する業務の危険度、買換品の安全措置の数(追加安全措置の数が多いほど有利)などで加点判定して審査し、交付決定されるため、申請しても必ず交付されるものではありませんが、不交付となっても、次の申請では交付される場合があります。例えば、業務の危険度は建設業の許可で10点から40点が加算されますが、「防水」の加点は10点です。交付決定前の発注、契約、支

の過負荷防止装置の更

本補助金の詳細ならびに「支援小売店」は、被災HPで確認してください。

私等是对象外となるのでご注意ください。なお、第1回目の申請は7月末で終了します。年度内に最低1回再度申請期間が設けられ(時期未定)、予算が残っている場合はさらに追加されます。申請窓口は、補助対象経費(見積額)の額が合計20万円未満は「支援小売店」へ、20万円以上は「建設業労働災害防止協会(防災防)」または「支援小売店」となります。

# 正・副分会長会議開催

## 検定や外国人雇用などテーマに

当支部は2月4日、当協会が同居する東京・千代田区全農薬ビル会議室で、平成30年度の分会長・副分会長会議を開催しました(写真)。

冒頭、内田浩文支部長が「この時期に注目される話題について、毎年意見を交換している。本支部の事業、ま



話し合いました。

技能検定試験の実施については、前期に新設が決まった改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業の概要の説明と、支部管内各都県における実施予定について報告がさ

た各分会の活動を有意義なものにするためにも、それぞれ意見を聞かせて欲しい。情報交換できる貴重な場だ。意義のある会議にした」と挨拶を述べた後、

外国人労働者の受け入れでは、建設業の受け入れ計画・審査と基準、全防協の対処方針

## 都防協が技術研修会 防水資機材の話題提供

### 分会協賛

東京都防水工事業協会の第13回技術研修会が5月16日、東京・千代田区の全水道会館で開催され、約100名が参加しました。なお、研修会には、当支部東京都分会が協賛しました。

冒頭、都分会の分会長で都防協専務理事・内田浩文氏が「東京五輪景気が沈静化しつつある今こそ、企業の差別化が受注に影響してくる。今回も多岐にわたる最新の技術を紹介します。しっかりと学んで、今後の事業に活用してもらいたい」と挨拶しました。



なお講演は、次の内容、講師で行われました。

①「ニッタ化工品の防水資材の紹介」吉岡孝治氏(ニッタ化工品) ②「レンタル資機材『塗膜除去機材・騒音対策機材・ユニット移動足場』などのご提案」川津秀一郎氏(鳴浜リース) ③「刷毛・ローラーの基礎知識について」関口仁宏氏(堀井普也氏(大塚刷毛製造) ④「セブンスの進化について」木村正樹氏・山本仁氏(セブンスケミカル)。

## ものづくり大生に 防水講義、実習指導

### 関東・甲信支部

ものづくり大学(埼玉県行田市)学生を対象とした防水工事講義(4月9日)と実習(4月16、23日)が、今年も当支部が講師派遣に協力して行われました。

実習では54名が8班に分かれ、各班に当支部から派遣の講師がそれぞれ1名付き、講師の指導に従って改質アスファルトシートトーチ工法の実技に取り組みました。学生たちは、配布された裁断図と仕様書を確認しながら、シートを裁断。その後、



梶田 勝氏 (株)ケイ・ビー・ケイ



富岡大和氏 (株)トミヨシ商会



神原陽一氏 (有)神原防水工業



名取健太郎氏 (株)マサル



丹内康弘氏 (グロリー防水工業株)



佐々久氏 (太陽産業株)



松本 淳氏 (株)ジェイ・ブルーフ



瀬尾武裕氏 (株)セオ防水技建



松島 隆氏 (高山工業株)



江川慎吾氏 (株)小島工務店

暑中お見舞い 申し上げます

<p><b>東日本シーリング工事業協同組合</b></p> <p>理事長 出水 裕之</p> <p>〒113-0033 東京都江東区永代二丁目三十一番六(有沢ビル二階)</p> <p>電話 〇三(三六四二)九五六一 FAX 〇三(三六四二)九五九〇 <a href="http://www.toushikyoy.jp/">http://www.toushikyoy.jp/</a></p>	<p><b>早川ゴム株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 横田 幸治</p> <p>東京支店 東京都江東区佐賀一丁目一〇番一〇 電話 〇三(三六四二)九四三四 〒113-0033 FAX 〇三(三六四二)六二八八</p>	<p><b>ロンシール工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 大村 朗</p> <p>〒113-0033 東京都墨田区緑四丁目一五番一三 電話 〇三(五六〇〇)一八六六 FAX 〇三(五六〇〇)一八四六</p>	<p><b>ロンブルー防水事業協同組合</b></p> <p>理事長 山崎 睦治</p> <p>〒113-0033 東京都墨田区緑四丁目一五番一三(ロンシールビル一階)</p> <p>電話 〇三(五六〇〇)四〇三六 FAX 〇三(五六〇〇)四〇三七</p>	<p><b>三ツ星ベルト株式会社</b></p> <p>建設資材事業部</p> <p>常務執行役員事業部長 下村 徹</p> <p>〒113-0033 兵庫県神戸市長田区浜添通四丁目一十二番 電話 〇七八(六八五)五七七一 FAX 〇七八(六八五)五六八一</p>
<p><b>日本アスファルト防水工業協同組合</b></p> <p>理事長 友長 悟</p> <p>〒113-0033 東京都足立区千住東二丁目三十一番四(日新工業株内)</p> <p>電話 〇三(六八〇六)二六六六 FAX 〇三(六八〇六)二六六七 <a href="http://www.nihon-asor.jp/">http://www.nihon-asor.jp/</a></p>	<p><b>日新工業株式会社</b></p> <p>代表取締役会長 相 臺 公 豊 代表取締役社長 相 臺 志 浩</p> <p>〒113-0033 東京都足立区千住東二丁目三十一番四 電話 〇三(三三八二)二四二四 FAX 〇三(三三八二)八五四五 <a href="https://www.nissinkogyo.co.jp">https://www.nissinkogyo.co.jp</a></p>	<p><b>全国サンタック防水工事業協同組合</b></p> <p>理事長 林 靖稔</p> <p>〒113-0033 東京都江東区佐賀一丁目一〇番一〇(早川ゴム株東京支店内)</p> <p>電話 〇三(三六四二)九四三四</p>	<p><b>ニッタ化工品株式会社</b></p> <p>代表取締役 森 下 敏彦</p> <p>〒113-0033 大阪府大阪市浪速区桜川四丁目二番二六 電話 〇六(六五六三)二二〇六 FAX 〇六(六五六三)二二三八 <a href="https://www.nitta-ci.co.jp/">https://www.nitta-ci.co.jp/</a></p>	<p><b>ニッタ防水工業会</b></p> <p>会長 森 光徳</p> <p>〒113-0033 東京都新宿区天神町一〇番地 安村ビル三階(ニッタ化工品株内)</p> <p>電話 〇三(三三三五)一七一一 FAX 〇三(三三三五)一五一〇 <a href="https://www.nitta-roofing.com/">https://www.nitta-roofing.com/</a></p>
<p><b>東京都防水工事業協会</b></p> <p>会長 佐々木 浩</p> <p>〒113-0033 東京都千代田区神田佐久間町三三番八(第五東ビル一F)</p> <p>電話 〇三(五八三三)二七八〇 FAX 〇三(五八三三)二七八一 URL <a href="http://toboutkyo.com">http://toboutkyo.com</a></p>	<p><b>田島ルーフィング株式会社</b></p> <p>代表取締役 田島 国雄</p> <p>〒113-0033 東京都千代田区外神田四丁目一四番一 電話 〇三(六八三七)八八八八 FAX 〇三(六八三七)八八八九</p>	<p><b>東西アスファルト事業協同組合</b></p> <p>理事長 濱野 充史</p> <p>〒113-0033 東京都千代田区外神田四丁目一四番一 秋葉原UDX南ウイング二十一階</p> <p>電話 〇三(六八三七)八八八八 FAX 〇三(六八三七)八八八九</p>	<p>環境にやさしいアスファルト防水</p>	<p>環境にやさしいアスファルト防水</p>

合格者は38名

# 平成30年度 防水施工管理技術者 認定試験

本年2月に東京で行われた、当協会の平成30年度「防水施工管理技術者」認定試験の結果が3月に発表されま

## 認定試験

した。I種(屋根・屋内・地下・水槽等の防水工事)26名、II種(外壁等の防水工事)12名の計38名が試験に合格

た。うち、当支部会員の合格者は次の25名の方々です。

- (敬称略。カッコ内所属会社名)。  
なお、累計の認定者数はI種が769名、II種が145名の計914名となりました。
- 〔I種16名〕  
小川聡一郎・伊藤正典(井上瀝青工業)、鈴木裕太・田邊典士(アルテック)、山田武夫・中村元紀・小川浩治・大柴真也・大橋泰忠・米田大・大橋正則(三星産業)、石山康之・前地佑樹(新パレックス工芸)、荒井勉・吉本将己(群馬建水)、唐沢伸治(仙嶺)
- 〔II種9名〕  
番場優啓(日本産業)、阿部忠明・荻原靖隆・今井康雄・笹川芳和・蓬田正之・秋山将太・瀧村義彦(リノ・ハピア)、小林英世(ベクター)

## CCUSの登録急増

### 技能者登録は6万人超え

建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム(CCUS)の本格運用が開始された4月以降、毎月末時点のCCUSへの技能者、事業者の登録数を公表しています。7月1日に公表された6月末時点の数字によると、全国の登録技能者数は6万19969人で、4月末の2万9753人から倍増(108.3%増)となりました。登録事業者数は6月末時点が1万5871事業者で、4月末(1万998事業者)よりも44.3%の増加

## 登録基幹技能者、 職長より給与面で厚遇

建専連調査

8%増で、この2県が突出して高くなっていきます。一方、山梨県は4月末比42.9%増に留まりました。山梨県は技能者登録数の伸びでは最低ですが、登録事業者数では4月末比で71.4%増と最も高くなっています。

建設業専門団体連合会が昨年11・12月に実施した「働き方改革における週休2日制、専門工事業の適正な評価に関するアンケート調査」の結果が明らかになりました。調査には826社の企業が回答を寄せ、うち全防協会員企業の回答は23社でした。

それによると、就業規則等で設定している休日(4週6休程度)が最も多く全体の36.2%、次いで「4週8休以上」が17.2%、「日曜日のみ」が15.6%でした。これに対し、実際に取れている休みは「4週6休程度」が28.9%、「4週5休」が27.5%、「日曜日のみ」が19.9%で、「4週8休以上」は6.8%に過ぎず、休みが取れていない実態が明らかになりました。

## 登録防水基幹技能者講習 今年度は新潟と東京で開催

8月1日受付開始

2019年度の登録防水基幹技能者講習は、8月1日(木)から受付を開始します。登録防水基幹技能者の資格取得を目指す方は、同日以降、当協会のHP (<https://www.jrca.or.jp>)より受講申込書類等をダウンロードするか、または当協会本部・支部から取り寄せて、受付期限の9月20日(金)(消印有効)までに受講手続きを完了してください。

なお、今年度は下記日程で新潟と東京の2都市を会場に講習を実施します。東京開催は2年ぶりとなるため、事前の問い合わせがすでに多く寄せられています。関東・甲信地区在住者で資格取得を目指す方は、お早めに受講申込手続きを行ってください。

- I. 新潟会場：新潟ユニゾンプラザ  
(新潟市中央区：JR「新潟駅」よりバスで10~20分)  
10月1日(火)、2日(水)の2日間。定員80名
- II. 東京会場：エッサム神田ホール2号館  
(千代田区内神田：JR「神田駅」北口・西口より徒歩3分)  
10月15日(火)、16日(水)の2日間。定員90名

※各会場とも、定員に達し次第締切り。  
※講習免除の申請対象者は修了試験のみの選択可(希望者は、該当者に直送する本協会からの免除申請書類で手続きのこと)。  
※宿泊施設の斡旋は行っていません。各自で手配してください。

## 白水興産株式会社

代表取締役 岡崎裕明

〒105-0006 東京都港区新橋五丁目八十一番一  
電話 〇三(三四三三) 九七一三  
<http://www.hakusui-k.co.jp>

## デュポン・スタイロ株式会社

代表取締役社長 有友 完

〒100-0211 東京都千代田区永田町二丁目十一番一  
山王パークタワー  
電話 〇三(五五二二) 〇一三四  
FAX 〇三(五五二二) 〇一八四

## 大日化成株式会社

代表取締役社長 小林直樹

〒595-0003 大阪府門真市末広町八丁目十三番一  
電話 〇六(六九〇九) 六七五五  
FAX 〇六(六九〇九) 六七〇二  
<https://www.dainichikasei.co.jp>

## ディックブルーディング株式会社

代表取締役社長 三浦吉晴

〒151-0055 東京都渋谷区代々木三丁目二十四番一三  
新宿スリーケービル五階  
電話 〇三(六八五九) 五〇二〇  
FAX 〇三(六八五九) 五〇二四

## 一般社団法人 ディックブルーディング工業会

会長 長谷克己

〒151-0055 東京都渋谷区代々木三丁目二十四番一三  
新宿スリーケービル五階  
電話 〇三(六八五九) 五〇二三  
FAX 〇三(六八五九) 五〇二四

## 株式会社ダイフレックス

代表取締役社長 三浦吉晴

〒151-0055 東京都新宿区西新宿二丁目四一  
新宿NSビル二五階  
電話 〇三(五三八一) 一五五五  
FAX 〇三(五三八一) 一五六六  
<https://www.df-flex.co.jp>

## ダイフレックス防水工業協同組合

理事長 川上一三

〒151-0055 東京都新宿区西新宿二丁目四一  
新宿NSビル二五階  
電話 〇三(六八六四) 〇二六二  
FAX 〇三(六八六四) 〇二六三  
<https://www.dg-flex.or.jp>

## 全国コンパック工業会

会長 豊岡正

〒565-0801 大阪府摂津市島飼西三丁目十一番二  
(大森化工棟内)  
電話 〇七二(六五四) 五二二二  
<https://www.compact-products-association.com>  
E-mail: info@daikai.co.jp

## 全国ケミラスルーフ防水協同組合

理事長 杉浦 渉

〒100-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町十五番一十八  
(株)エイ・アル・センター(東京支店内)  
電話 〇三(五六六四) 六二九五  
FAX 〇三(五六六四) 四七〇二  
URL: <http://www.ar-center.co.jp>

## 昭和電工建材株式会社

代表取締役 寺田 徹

〒311-0207 神奈川県横浜市神奈川区恵比須町八  
電話 〇四五(四四四) 一六九一  
FAX 〇四五(四四四) 一六九九  
<http://www.sdk-k.com>

## 東日本ショウゼット工業会

会長 大谷 登

〒311-0207 神奈川県横浜市神奈川区恵比須町八  
電話 〇四五(四四四) 一六九一  
FAX 〇四五(四四四) 一六九九  
<http://shozet.jp>

## ジャパンマテリアル株式会社

代表取締役会長 松本俊一  
代表取締役社長 堀之内晋也

〒100-0001 東京都江東区住吉二丁目八番一十一  
あいおいニッセイ同和損保江東ビル五階  
電話 〇三(六二四〇) 二二二二  
FAX 〇三(六二四〇) 二二二二

## 関東防水管理事業協同組合

理事長 山幸治郎

〒100-0001 東京都千代田区外神田四丁目十四番一  
秋葉原UDX南ウイング二十一階  
電話 〇三(六八三七) 八八八八  
FAX 〇三(六八三七) 八八八九

また、技能者の平均給与額と事業者負担の法定福利費に関する調査項目(回答会社の中(中央値)では、全体では技能労働者40歳の給与が32万4206円、事業者負担の法定福利費が4万5000円、職長が47歳で38万8000円、5万4894円、登録基幹技能者が48歳で、43万9591円、6万2430円となりました。

登録基幹技能者と職長とは年齢がほぼ同じでも、登録基幹技能者の平均給与(中央値)は13.3%、5万1000円ほど職長より高





★全国防水工事業協会 関東・甲信支部会員一覧(50音順)★

茨城県

- (株)アコオ 029-251-3016
(株)アジマ防水 029-229-7165
(株)石川塗装 0280-48-5646
茨城ライン(株) 0294-43-6666
植田防水工業(株) 029-227-4181
(有)大宮防水工業 0294-53-6888
(有)神原防水工業 0280-31-3333
(有)菊池防水工業 029-295-5513
(株)ツクバ防水 029-846-6487
中山技研(株) 029-823-1131
(株)奈良屋 029-241-5141
(株)日立東亜建工 0294-33-3178
(有)益子樹脂興業 0280-48-2812
(株)マスタ塗装店 029-274-5101
柳澤工業(株) 029-862-4711
(株)山忠 029-221-9151

群馬県

- 石田建材工業(株) 027-327-3301
(株)石田塗装店 027-243-6505
カワナベ工業(株) 027-352-9190
(株)群馬建水 0270-65-3078
(株)西毛防水 027-380-5062
関口建材(株) 027-251-1182
(株)両毛防水 0270-32-1288

栃木県

- (株)アイ・レック 028-613-1066
アオキ工業(株) 028-689-0511
(株)板通 0284-44-1641
(有)三栄防水社 028-673-1495
富士見工業(株) 0287-23-5585
(株)ベクター 0289-77-3171
瀝青建材(株)宇都宮営業所 028-622-9737
渡辺建工(株) 0289-76-0041

埼玉県

- アポロ工業(株) 04-2949-1931
(株)カイシン 048-971-7622
木元工業(株) 048-473-8851
(株)ケーエス 048-242-3746
(株)高信工業 048-757-3174
(株)システムモルナイト 04-2990-3431
ショー技研工業(株) 048-549-0116
松坂屋建材(株) 048-524-0111
(株)マツモト工業所 048-444-5061
和喜屋工業(株) 04-2948-5500

千葉県

- (株)木村防水工業 047-393-1411
(株)誠真工業 047-409-1995
(株)大永 043-460-0721
大栄(株)君津支店 0438-36-9706

- 大裕工業(株) 043-258-0074
(株)ティーエスケー 047-434-1751
ナナフ工業(有) 043-237-8100
糠信瀝青(株) 0474-38-4511
藤防水工業(株) 047-365-2151
(株)山城産業 047-431-8881

東京都

- (株)アースリー 042-513-0388
(株)相原防水工業 03-3759-3650
アサヒ建販(株) 03-5697-7766
(株)我妻工業 03-3894-6262
五十嵐工業(株) 03-3608-9531
(有)石黒建材社 03-3338-0905
井上瀝青工業(株) 03-3447-3241
(株)英光産業 03-3635-2240
(株)エヌケーツウ 03-3678-6948
(株)O. R. N 03-5992-9601
奥山化工業(株) 03-3571-2703
オセオ防水工業(株) 03-3931-4911
(有)梶浦工業 0425-65-6899
完全防水(株) 03-3208-1151
北原建材工業(株) 042-675-2911
協和工材(株) 03-3316-5691
クニ化学防水(株) 03-3362-9321
(株)栗崎工業 03-5876-9931
クリステル工業(株) 03-3372-2451
グローリー防水工業(株) 03-3678-4512
桑原建材(株) 03-6411-0073

- (株)ケイ・ビー・ケイ 03-3963-6400
京葉シール(株) 03-3631-0106
(株)ケルビン 03-3863-0141
光栄工業(株) 03-3928-2271
光清化成建設(株) 03-3264-1031
(株)小島工務店 東京支店 03-3936-1020
(株)サーフ 03-3948-7977
山栄興業(株) 03-5496-2560
(株)三和トラスト 03-6915-9460
(株)ジェイ・ブルーフ 03-3624-9616
(株)ジックス 03-5907-4651
昭石化工(株) 03-5531-7067
(株)ジョスコム 03-3304-1011
新バーレックス工営(株) 03-6807-1993
新防水(株) 03-3605-1855
(株)鈴木乃防水耐火板 03-3781-2343
清起工業(株) 042-546-5311
(株)セオ防水技建 03-3975-7231
太陽産業(株) 03-3949-8118
高田工業(株) 03-3620-6991

- (株)高野工務店 03-3605-2569
高山工業(株) 03-3265-5631
中央建材工業(株)東京支店 03-3730-1281
(株)中央コンクリート防水 042-442-8470
東亜化成(株) 03-3295-9727
(株)東洋産業 042-369-2661

- (株)トミヨシ商会 03-3775-2203
(株)長崎ケミカル 03-3732-6076
永沢塗装(株) 0428-22-0616
中村瀝青工業(株) 03-3892-0131
南海工業(株) 03-3483-7511
(株)日建企業 03-3416-8531
日幸化学工業(株) 03-3491-1237
日新建工(株) 03-5284-1371
(株)日装 03-3354-4191
日本ガンツ工業(株) 03-3263-3366
日本建装(株) 03-3610-2126
日本産業(株) 03-5547-6611
日本防水工業(株) 03-3998-8721
(有)ハイパーシール工業 03-3554-0081

- (株)春樹 042-534-4581
ビルコン(株) 03-3823-6061
(株)プライド 042-405-3101
(株)ブルーフ産業 03-3437-5417
ベストウイングテクノ(株) 050-5538-0361
(株)ベルテック東京営業所 03-6802-1030
(株)マサル 03-3643-5859
(株)マノール 03-3927-1331
丸進工業(株) 03-3748-2350
(株)水谷 03-3583-0528
三星産業(株) 03-3912-1261
ヤマギシリフォーム工業(株) 03-3474-2900
ヤマト工業(株) 03-3777-3905
吉田建設工業(株) 03-5541-3770

- ヨツヤウレタン(株) 03-3954-2611
(株)LEAK PROOF 03-6677-0667
リーディング(株) 03-5937-3950
リノ・ハピア(株) 03-3748-4011
(株)リン・ドス 03-5395-6161
レオン工業(株) 03-3355-6331
瀝青建材(株) 03-3861-2706
(株)ロンテクノ 03-3946-9261

- (株)アルテック 045-621-8917
(株)永和工業 0468-35-6886
(株)エヌ・ケー 045-372-5900
(株)神奈川商会 044-544-7877
(有)神守建材社 046-822-4288
金港瀝青(株) 045-421-6521
(株)スドウ美建工業 045-501-0319
(株)清谷商店 045-861-8886
千代田建工(株) 044-959-5951
(株)テンダー 045-319-1991
(株)西尾産業 045-531-2403
ハマ・インペリアル(株) 045-803-8052
(株)ブライト 045-622-3117
松尾化学工業(株) 045-571-4542
丸山工業(株) 045-364-6280
(株)嶺岡 0466-86-6422
(株)八代産業 045-314-8463
(株)ヨコソー 046-834-5191
ヨコハマ防水(株) 045-954-1671

神奈川県

- (株)土屋工業 055-251-4062
(有)中沢実業 055-241-5198

山梨県

- (株)五十鈴 0265-78-4331
(株)岩野商会 026-263-7000
(株)ABM 026-222-6969
(有)オカニワ建工 0263-54-1200
倉又工業(株) 0267-66-0333
坂田工業(株) 026-286-3751
炭平コーポレーション(株) 026-243-6111
(株)仙嶺 0263-58-3188
(有)長野工商 0268-24-6551
鍋林建工(株) 0263-48-3501

長野県

- (株)岩野商会 026-263-7000
(株)ABM 026-222-6969
(有)オカニワ建工 0263-54-1200
倉又工業(株) 0267-66-0333
坂田工業(株) 026-286-3751
炭平コーポレーション(株) 026-243-6111
(株)仙嶺 0263-58-3188
(有)長野工商 0268-24-6551
鍋林建工(株) 0263-48-3501

◆ 関東・甲信支部事務局所在地

〒101-0047 千代田区内神田3-3-4 全農ビル6階(※本内)
電話番号 03-5298-3793 Fax番号 03-5298-3795

◆ 関東・甲信支部分会事務局所在地

Table with 4 columns: 分会名, 〒, 所在地, 電話番号. Lists branch office addresses for various prefectures like Ibaraki, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Yamanashi, and Nagano.



現場に配置された監視技術者・主任技術者は工事現場にて業務を行うことが基本ですが、下記の理由等により短期間工事現場を離れることは可能です。

- 研修、講習、試験等への参加
• 休暇の取得

いずれの場合も、適切な施工ができる体制を確保するとともに、注文者の了解を得ることが必要です。詳しくは平成30年12月3日国土建第309号「主任技術者又は監視技術者の「専任」の明確化について(改正)」をご参照下さい。
http://www.mlit.go.jp/common/001263592.pdf